

平成 27 年度

消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業



はじめに

一般社団法人四季旬鮮協会は、鮮魚と新鮮野菜の超鮮度流通体制構築を目指して、多様な（産地関係者、飲食店等需要者、仲卸等流通業者等）フードチェーン関係者参加のもとに発足しました。これら関係各位のつながりの中で、欧米型食生活による農産物、水産物の消費衰退に歯止めをかけ、「美味しい魚、新鮮な野菜を消費者に味わってもらいたい」、「少しでも料理人の匠の技を、食育の観点から消費拡大につなげたい」という想いから、「日本型食生活の普及へ向けた取組」を一つの柱として活動して参りました。

そんな中、更に日本型食生活を普及するため、農林水産省補助事業、「平成 27 年度消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業」に応募、採択されました。

「平成 27 年度消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業」は、日本型食生活の普及・実践、食や農林水産業への理解増進のため、消費者の様々なライフスタイルの特性・ニーズに対応した食育メニューを関係者の連携のもと、体系的に提供するモデル的取組を行うものです。

四季旬鮮協会では、様々な組織・団体・個人と連携し、日本型食生活の普及・実践のための体験学習（農業体験学習、漁業体験学習、行事食料理教室、郷土料理教室、日本食セミナー）を企画、実施しました。

本成果報告書ダイジェスト版は、四季旬鮮協会が実施した体験学習の内容や実施したアンケート結果などを中心にまとめたものです。本冊子を体験学習実施にあたりご協力頂いた皆様にお送りすることにより、更なる食育の推進、日本型食生活の普及のお役にたてばと願うばかりです。

最後に、改めて「平成 27 年度消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業」にご協力頂きました団体・組織・個人の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

平成 28 年度 3 月吉日

一般社団法人四季旬鮮協会
会長 吉野 正芳

事業推進会議

一般社団法人四季旬鮮協会では、円滑な事業運営を行うため、事業推進会議、食育推進会議、地域食材調理方法検討会の3つの会議を設置し、事業推進会議を頂点とした事業運営を行うことを決定いたしました。



農業体験学習

農業体験学習

日時/参加	第1回	6月27日(土)	17名(大人12名、子供5名)
	第2回	8月15日(土)	22名(大人18名、子供4名)
	第3回	8月29日(土)	23名(大人15名、子供8名)
	第4回	9月19日(土)	36名(大人28名、子供8名)
	第5回	10月3日(土)	33名(大人26名、子供7名)
開催場所	ハケ岳農業実践大学校 農林体験学習フィールド		
協力	ハケ岳農業実践大学校・芽野市役所・原役場		
講演・講師	伊東先生、梶並先生、赤井先生		
概要	10:00	集合	
	10:30	開校式	
	11:30	収穫体験(ズッキーニ、二十日大根、ラディッシュ、ごぼう、ミニトマト、ホウレン草、なす等季節毎の野菜を収穫)	
	12:40	各班に分かれて調理 ・チーズ作り・マヨネーズ作り・生野菜サラダ ・温野菜サラダ・パスタ・パスタソース	
	13:40	試食(昼食) 食材、旬等について食べながら講義 後片づけ(食材の残渣、食べ残しについて講義)	
	14:30	動物との触れ合い(やぎ・ひつじ・うさぎ)	
	15:30	振り返りの会 感想発表、アンケート記入	
	16:00	閉校式	
	16:20	解散	



漁業体験学習

漁業体験学習	
日時/参加	10月10日(土) 56名(大人35名、子供21名)
開催場所	岩井海岸 千葉県南房総市岩井海岸
協力	さくら橋コミュニティセンター(募集協力) 甚五郎旅館
講師・講演	鎌倉女子大学名誉教授 成瀬先生 小澤甚五郎先生 平野勝四郎先生 佐藤正人先生
概要	7:00 墨田区さくら橋に集合・バスにて出発 10:00 岩井海岸到着 10:30 浜まで歩き地引網体験 網を引き、魚について小澤甚五郎さんの講義 12:00 鎌倉女子大学成瀬先生 和食・日本型食生活・魚を食べる食事の効果等講義 平野氏から、千葉県の特産品、昔ながらの漁、保存方法など講義 13:15 地引網で引き揚げた魚(タイ、かます、いさき等)を刺身で食べる。 地場野菜などの説明を受けながらBBQで昼食 14:30 佐藤氏より日本の漁業の現状について講義 アジを開き干物作成 15:30 振り返りの会、アンケート記入 16:00 岩井海岸出発 19:00 墨田区に到着 解散



行事食料理教室

第1回行事食料理教室

日時/参加	平成27年9月5日(土) 18名
開催場所	そごう横浜店 9階ミーティングルーム
協力	有限会社 Cause Holly
講演・講師	管理栄養士・食生活アドバイザー 掘知佐子先生

第2回行事食料理教室

日時/参加	平成27年9月12日(土) 15名
開催場所	レストラン Rire
協力	有限会社 Cause Holly
講演・講師	管理栄養士・食生活アドバイザー 掘知佐子先生

第3回行事食料理教室

日時/参加	平成27年10月20日(火) 12名
開催場所	ホシザキ関東ショールーム
協力	ホシザキ関東株式会社
講演・講師	岩渕将明シェフ

第4回行事食料理教室

日時/参加	平成27年12月17日(木) 21名
開催場所	マノ料理学園
協力	マノ料理学園 有限会社ミカコーポレーション 特定非営利活動法人 日本箸道協会
講演・講師	マノ料理学園 間野実花先生 特定非営利活動法人 日本箸道協会 牟田実先生



郷土料理教室

第1回行事食料理教室

日時/参加	平成27年8月23日（日） 15名
開催場所	レストラン Rire
協力	有限会社 Cause Holly 株式会社菊の井（株式会社菊の井の若手板前さんが参加）
講演・講師	管理栄養士・食生活アドバイザー 堀知佐子先生

第2回行事食料理教室

日時/参加	平成27年10月27日（火） 33名
開催場所	築地教育会館
協力	有限会社 Cause Holly
講演・講師	管理栄養士・食生活アドバイザー 堀知佐子先生



日本食セミナー（福島）

日本食セミナー（福島）	
日時/参加	平成 28 年 1 月 30 日（土） 約 65 名
開催場所	ホテルアクセス
協力 参加者	福島県立磐城農業高等学校、福島県立勿来工業高等学校 福島県立勿来高等学校、福島県立遠野高等学校 いわき市立植田小学校、いわき市立汐見が丘小学校 いわき市立菊田小学校、いわき市立植田中学校 いわき市立植田東中学校 P T A の皆様 ほうとく幼稚園、宝徳院、勿来地区にお住いの皆様
講演・講師	一般社団法人四季旬鮮協会会長 衆議院議員 吉野正芳先生 元岩瀬農業高校校長 櫛田幸太郎先生 生駒祐健先生 吉田光徳先生
概要	10 : 00 11 : 15 12 : 30 15 : 00 開会挨拶 一般社団法人四季旬鮮協会会長 衆議院議員 吉野正芳挨拶 パネルディスカッション パネラー 一般社団法人四季旬鮮協会会長 衆議院議員 吉野正芳 元岩瀬農業高校校長 櫛田幸太郎氏 魚の捌き方(家庭でできるあんこうの解体) 郷土料理試食 メヒカリのから揚げ、アンコウ鍋 田人のふぐ刺身こんにゃくゆずみそ添え 地元野菜を使ったお煮しめ香の物(白菜、紅白なます)、おにぎり、お茶 解散



日本食セミナー（富山）

日本食セミナー（富山）	
日時/参加	平成 28 年 1 月 22 日（金） 約 140 名
開催場所	新湊きつときと市場
協力 参加者	新湊うまいもん株式会社、新湊漁業協同組合女性部 私立高岡龍谷高等学校
講演・講師	新湊漁業協同組合代表理事組合長 女性部部长 尾山 春枝先生 新湊きつときと市場 宮料理長 新湊きつときと市場 谷副料理長
概要	10 : 30 一般社団法人四季旬鮮協会 専務理事 湯田 正次 新湊漁業協同組合代表理事組合長 女性部部长 尾山 春枝様 11 : 00 特別実演 谷副料理長によるブリの解体実演 宮料理長によるブリの押し寿司（作り方の実演） 12 : 00 試食会 新湊漁業協同組合女性部による郷土鍋の試食 ブリの押し寿司 13 : 00 セリ（カニ）の見学 午後のセリを見学（尾山女性部部长による解説） 14 : 30 解散



アンケート結果について

アンケートについて

一般社団法人四季旬鮮協会は、平成 27 年度 農林水産省 消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業の実施にあたり、6つの事業成果目標（以下成果目標という）を掲げました。成果目標の達成状況を計測する手段として、「日本型食生活に関するアンケート」を実施し、定量的に計測することによって、成果目標の達成状況を判定します。また、日本型食生活や食育に関する取組み、ニーズなどを聞き取り、今後の活動につなげることを目的としました。

11

【四季旬鮮協会が掲げた成果目標】

【成果目標】	
① 「日本型食生活」の認知度の向上	90%
② 「日本型食生活」を実践している者の割合の増加	70%
③ 食や農林水産業への理解が深まった者の割合	90%
④ 栄養バランスに配慮した食生活を送っている者の割合の増加	70%
⑤ 食に関する知識が向上した者の割合の増加	90%
⑥ 和食・地域の食文化に関する理解が高まった者の割合の増加	90%

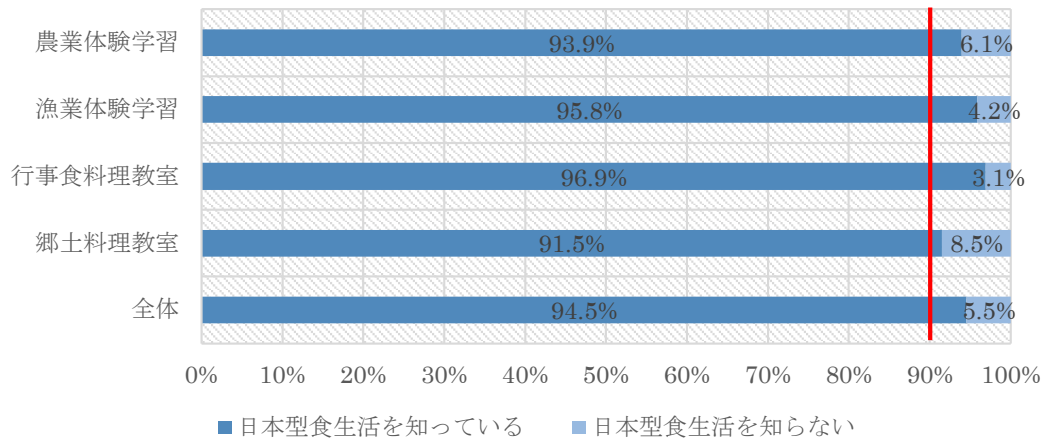
【アンケートの実施状況】

内容	参加人数	回収人数	回収率
農業体験学習	131 人 (99 人)	99 人	100%
漁業体験学習	56 人 (35 人)	24 人	69%
行事食料理	81 人	80 人	99%
郷土料理	48 人	48 人	100%
合計	316 (263 人)	251 人	95.4%

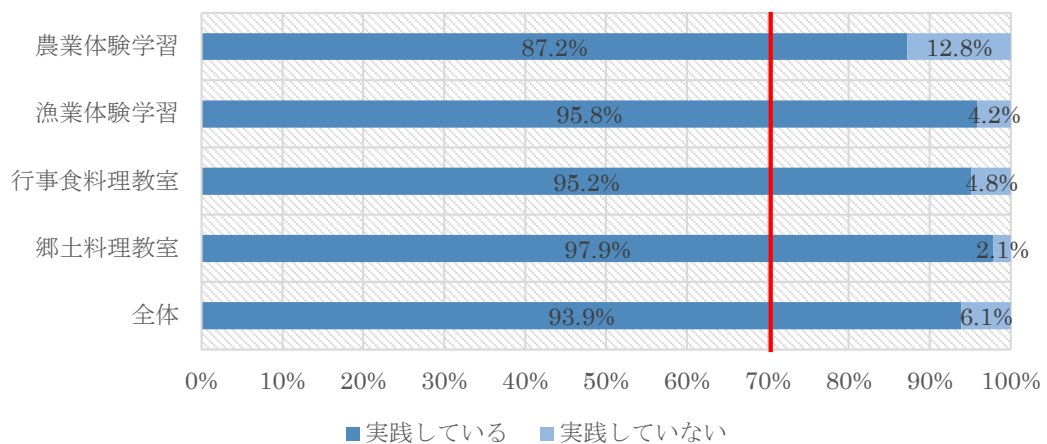


【体験学習別成果目標に対するアンケート結果】

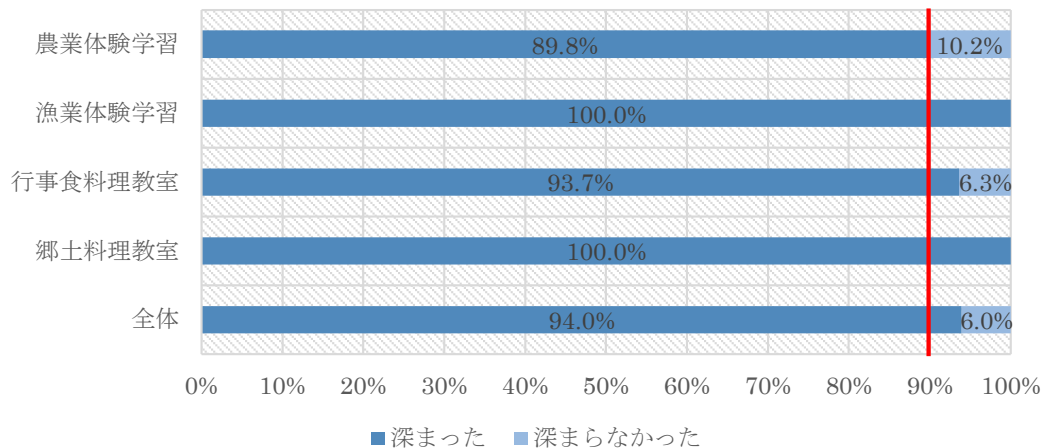
① 「日本型食生活」の認知度の向上 90%



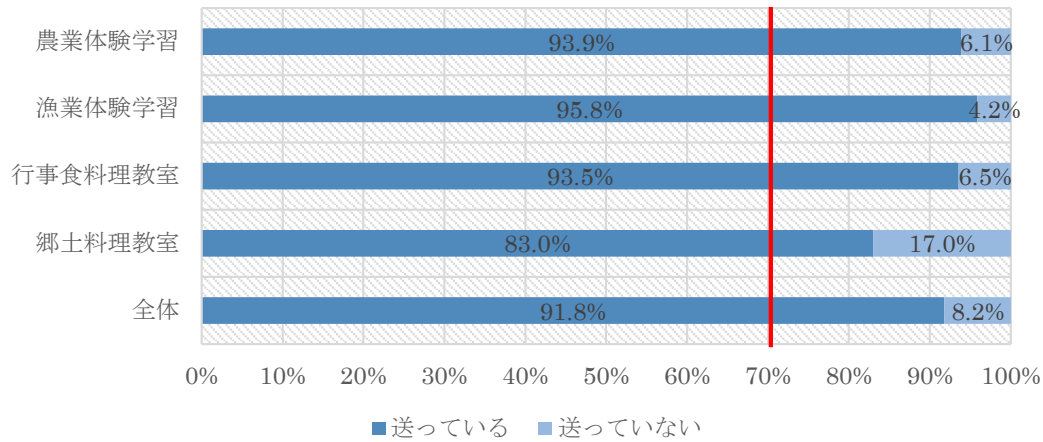
② 「日本型食生活」を実践している者の割合の増加 70%



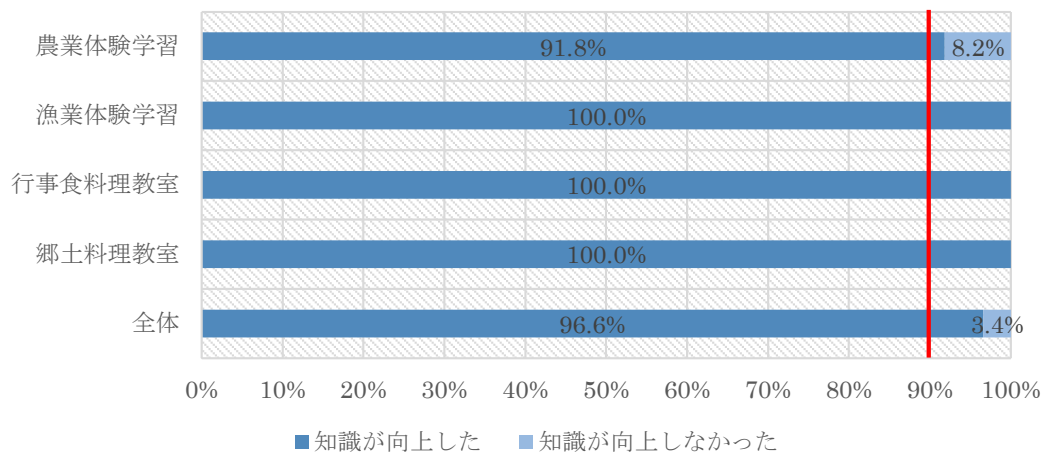
③ 食や農林水産業への理解が深まった者の割合 90%



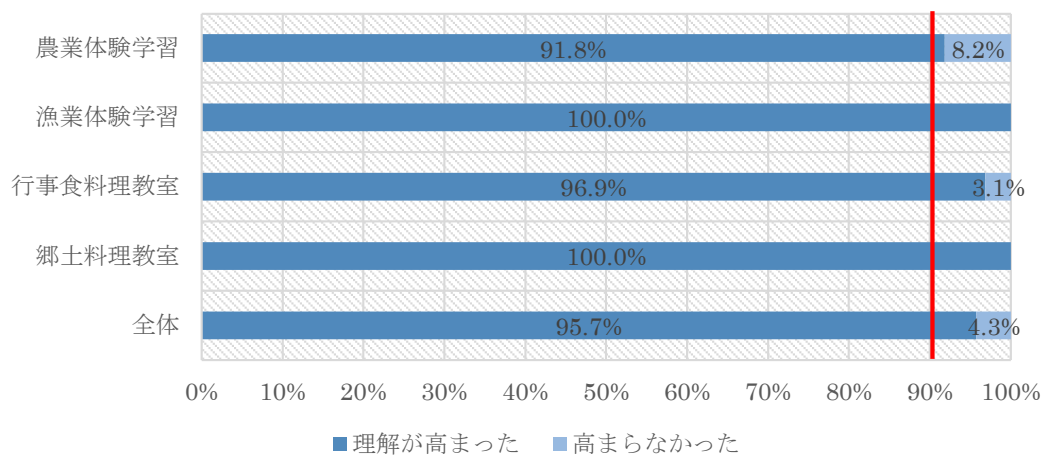
④ 栄養バランスに配慮した食生活を送っている者の割合の増加 ・ 70%



⑤ 食に関する知識が向上した者の割合の増加 ・ ・ ・ ・ ・ 90%



⑥ 和食・地域の食文化に関する理解が高まった者の割合の増加 ・ 90%



平成 27 年度消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業にご協力頂いた皆様

【協力企業・団体一覧】
八ヶ岳農業実践大学校様
茅野市役所様
原役場様
さくら橋コミュニティセンター様
甚五郎旅館
有限会社 Cause Holly 様
レストラン R i r e 様
ホシザキ関東株式会社様
マノ料理学園様
有限会社ミカコーポレーション様
特手非営利活動法人 日本箸道協会様
株式会社菊の井様
築地教育会館様
高岡龍谷高校様
新湊うまいもん株式会社様
新湊漁業協同組合女性部様
有限会社エー・アール・エヌ様
松源商事株式会社様
株式会社エフディーネット様

【講演者一覧】
伊東 麻紀先生
梶並 憲昭先生
赤井 一夫先生
小澤 甚五郎先生
平野 勝四郎先生
成瀬 宇平先生
佐藤 正人先生
堀 知佐子先生
岩渕 将明先生
間野 実花先生
牟田 実先生
吉野 正芳先生
吉田 光徳先生
生駒 祐健先生
櫛田 幸太郎先生
尾山 春枝先生
宮 正一先生
谷 正芳先生

皆様のご協力により、素晴らしい食育活動の実践が出来ました。心より御礼申し上げます。



平成 27 年度
消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業 事成果報告書ダイジェスト版

平成 28 年 3 月
発 行 一般社団法人四季旬鮮協会
発行人 一般社団法人四季旬鮮協会 事務局長 日下部 静香
住 所 千代田区内神田 3-23-8 第三唐澤ビル 7 階
株式会社 エフデーネット内
TEL 03-6206-0585 FAX 03-6206-0575
